

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成22年 3月26 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3470203625
法人名	医療法人 和同会
事業所名	西広島グループホーム
所在地	広島市西区田方2丁目16-45 (電話) 082-274-1600
評価機関名	医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成22年3月19日

## 【情報提供票より】22年2月22日事業所提供

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 12 月 1 日
ユニット数	2ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	17人 常勤 13 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 10,

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋鉄骨コンクリート 造り 9階建ての 2階 ~ 階部分
------	---------------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用平成22年 22

利用者人数	17名	男性	0名	女性	17名
要介護1	0名	要介護2	7名		
要介護3	7名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 88,7 歳	最低	67 歳	最高	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	広島パークヒル病院
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

西広島グループホームは医療施設(病院、ホスピス等)福祉施設(老人保健施設、デイケア等)の複合施設内に併設された施設です。立地的には地域交流に難点がある中、管理者や職員の弛まぬ努力で地域との交流が開拓され、敬老会に招待されたり、お祭りやお餅つきに参加してもらう等、和やかな交流が続けられています。職員は利用者と目線の位置で声掛けをされ、居心地の良さが訪問者にも感じられた。設備や看護体制は病院との密接な連携が取られ利用者や家族の安心安全な支えとなっています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域に密着したグループホームとしての位置の確立をホーム長他職員全員で推進され、利用者や地域との交流が前回以上に和やかに進められている
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員には評価の意義が充分理解され、評価項目に示されている改善点を検討しながら自己評価を記入され、ホームのサービスの向上に努められている
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議に家族の出席者が多数あり討議された議題はホームの運営に重要度も高く、議事録はミーティングで検討され職員で共有してサービスの向上に役だたしている
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	利用者家族の訪問者は多数で訪問回数も多いため、個人面談が容易に可能であり、家族からも率直な意見を頂き、サービスの改善の参考にすることも度々ある
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会、老人会の行事には利用者が招かれ、施設の夏祭り等のイベントには地域の方々を招く等親交が深められている。中学校の職場体験や小学校との交流も徐々に活発に展開されている

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	2ユニットは「なごみ1、なごみ2」と名付けられている通り「笑顔で安心、和みのファミリー」との優しさをモットーとした理念が作られている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員には理念、基本方針が記載されているカードが配布されて実践が求められ、日々のケアに努められている		日常業務では理念に沿ったケアが実践されているがミーティング時等には全員で唱和されることで気分一新の機会とされたい
2. 地域との支えあい					
3	5	で 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会、老人会の行事に参加され、又地域の中学校の職場体験、小学校との交流会も活発に行われている。地域の敬老会に参加されている利用者の笑顔のスナップは地域に馴染まれている印象深い情景であった		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員が共有しながら記入され、外部評価の結果は即刻ミーティングで話し合い、利用者家族全員に配布され、又運営推進会議にも公表して今後のサービスの向上に取り入れている		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には大半の家族が出席され、家族の意見を聞きとれる有意義な機会となっている。討議されて議題はミーティングで報告され全員で検討し日々のケアの向上に役立っている		

西広島グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	最近地域包括センターとの交流も持たれるようになり、時折相談をしている		市町村にホームの実態をもっと知っていただきたいとの希望があった。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問者は多く訪問回数も多いため、殆どの利用者は訪問時に個別面談が可能で日常の様子を詳細に報告し相談をしている		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への家族参加者が多数なので意見も種々寄せられ、検討されて日常業務の改善に役立たせることもある		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は2人担当制で利用者に接し、移動時の影響を少なくしている、又「なごみ1」「なごみ2」を職員は平均に担当しているので馴染みとなり個別職員の異動のダメージが少ない		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内職員研修は度々開かれているが、時間帯が17時以後になるためシフトによっては参加できないこともある。参加者が報告するなど共有するよう努めている		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの交流会に参加し、情報の交換をしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	緊急性のある待機者が多数で空き室があればすぐに入居されることが殆どである。過去の生活歴を職員全員で共有し家族の協力を得ながら馴染んでいただいている。過去のケースではスムーズに入居生活が始められている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者個々人の特技や嗜好を捉えながら教えられる話題をひきだしている。食事の支度、おやつ作り、餅つき等教えられながら進めている		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当制を取り入れているので、思いの表出が受けとり易い、いつでもなんでも言ってもらえる工夫を常にしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスには出来るだけ家族の出席を求め意見を述べていただき、担当者が日常の報告を交えケアマネと共に介護計画を作成している		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランは行動記録表等を参考にしながら作成しているため、利用者の状態に変化が生じた場合は随時見直しをしている。担当制が役立っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	ホームは医療や多岐に亘る福 祉施設に併設されているので 老健、デイケア等でのイベ ントに参加する機会が多い。 又施設内にある保育所の子 供達との交流は利用者に活 力をも促す和みの時間とな っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大 切にし、納得が得られたか かかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医 療を受けられるように支援 している	施設内の病院が利用者全 員のかかりつけ医になって いるので、家族との関わり も容易で常時適切な指示 を得ている。訪問歯科の 診療を定期的に受ける支 援がされている		
19	47	重度化や終末期に向けた 方針の共有 重度化した場合や終末期 のあり方について、でき るだけ早い段階から本人 や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し 合い、全員で方針を共有 している	重度化、看取りについて 家族とは十分に話し合い が持たれ、併設病院の医 師、看護師の即時の応援 態勢も確立され、ホーム 職員は全員で受け入れ方 針を共有し支援されてい る。過去3例の看取りが おこなわれ、家族より謝 意が寄せられた		
が					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹 底 一人ひとりの誇りやプライ バシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の 個人情報取り扱いをして いない	職員は姿勢を低くし利用 者と目線を合しながら笑 顔で会話が交わされてい た。記録簿の管理は保管 庫が完備されている。		事務室での個人ファイル の置き場所について、 廊下側窓よりの視線に 合わない注意を望みます
21	52	日々のその人らしい暮 らし 職員側の決まりや都合を 優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切 にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望に そって支援している	食器の後片付け等を仕事 としてされる利用者もあ るので、済まされて後に 乾燥機で消毒をしている。 洗濯物の整理や植物の 灌水等進んでされる利 用者には職員と共に行 っている		入浴を午後にするこ とで職員の時間配分を 厚くし買い物に職員 2名で1名の利用者 を買い物の同行をし て貰い喜ばれている

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	玉ねぎの皮むき等の下準備、配膳の手伝いを自分の役目としてされる方、後片付けを得意とされる方等利用者と調理担当職員の和気がキッチンに醸しだされている。		片麻痺車椅子の利用者の方が笑顔で配膳の手伝いをされている様子は特記したい情景であった
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があればいつでも入浴出来る体制にしているが、通常は午後にして毎日でも受け入れている。入浴を嫌がる方の支援を色々工夫しながら行うこともある		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎月2回の生け花の日を楽しみにされている方、利用者の生活歴等を職員で共有し、屋上の植物の管理に携わってもらっている方もある。手芸品を沢山作られ居室に飾られて楽しまれ、職員にも励みとなっている		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの買い物には職員と共に1人は同行して貰い外出の支援としている。家族や友人の誘いで外出され外食を楽しまれて来られる方もある。屋上の花畑の手入れも外出支援と位置付けて希望される方を連れ出す支援をして		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠はせず、「なごみ1」「なごみ2」の間を行き来することを楽しみにしている方、施設内の売店で買い物を楽しめる方もあり、職員は後方より見守りをしている		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の参加を得て施設全体で訓練を行っている。防災委員会が1カ月に1回開かれ問題点等が話し合われる		直近では「なごみ2」が火元となる訓練が大々的に行われ職員の防災への喚起が強まったとの説明がされた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量は個人管理表に記入され必要に応じて個別に勧めている。排泄の状況も考慮しつつ、勧めるにあたってはコップや水分の形態(ゼリー等)を変えたりと工夫をしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は他の多くのグループホームと比較して広く、日当たりのよい窓際にソファが置かれ利用者はゆったりと寛がれていた。前面の黒板は利用者が当番で本日のメニューを書いたり、好みの言葉や詩等を自由に表現されることに使用されている		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の居室は家族の協力で利用者の希望通りのレイアウトを基本としている、自作の手芸品や生花が飾られたり、壁面は家族写真や習字等も展示されている		